災害時における避難者の住環境改善の取組に係る協定書（要配慮者用）

事前協定用

　【市町村名】（以下「甲」という。）と【宿泊施設名】（以下「乙」という。）とは、災害時における避難者の住環境改善の取組に関して、次のとおり協定を締結する。

（事業の協力等）

第１条　乙は、本協定に基づく利用者に対して、避難者に対する支援の意義を理解し、その実施に協力するものとする。

２　甲は、乙が管理する次の旅館及びホテル等（以下「協力宿泊施設」という。）を災害時に借り上げ、

|  |  |
| --- | --- |
| 協力宿泊施設の名称 |  |
| 所在地 |  |

（宿泊利用の申込）

第２条　乙への利用の申込は、甲が乙の定める方法により行うものとする。

（協定の有効期間）

第３条　本協定は、協定締結の日から効力を有するものとし、甲又は乙のいずれかが書面をもって協定を更新しない旨の意思表示をしない限り、その効力を有するものとする。

（実施期間）

第４条　実施期間は、災害時に甲が災害救助法に基づく避難所を設置する期間とする。

（借上料）

第５条　１人１泊あたりの借上料（サービス料込、消費税・入湯税別）は、災害救助法施行令第３条に基づき長野県が定める基準を踏まえ、災害時に甲と乙が協議し、別途定めるものとする。

（取消料）

第６条　乙は、利用の申込後に取消があった場合であっても、甲に対して取消料は請求しないものとする。

（送迎）

第７条　避難者の避難所から協力宿泊施設への移動は、原則として避難者各自で行うこととする。

（借上費用の支払方法）

第８条　乙は、発生した受入費用を実施期間後に算出した上で、甲が定める受入実績報告書を添付し、甲に請求するものとする。

２　甲は、乙からの支払請求があったときは、速やかに乙の指定する金融機関の口座に振り込むものとする。

（その他）

第９条　本協定に定めない事項及び疑義が生じたときは、甲、乙協議の上定めるものとする。

この協定の成立を証するため、本書を２通作成し、甲、乙記名押印のうえ、各自１通保有する。

令和２年　月　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　甲　　住　所　　　長野市大字鶴賀緑町1613番地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名　称　　　長野市

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　長野市長　加藤　久雄　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　乙　　住　所　　　長野市

名　称

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　印

災害時における避難者の住環境改善の取組に係る協定に基づく借上料について

○○○○災害における、【市町村名】（以下「甲」という。）が依頼する【宿泊施設名】（以下「乙」という。）の避難者の宿泊利用について、災害時における避難者の住環境改善の取組に係る協定書第５条に定める借上料を第１表のとおり定める。

第１表　１人１泊あたりの借上料（サービス料込、消費税・入湯税別）

|  |  |
| --- | --- |
| 乙が避難者に提供する食事 | 借上料 |
| ３食（夕食、翌朝食及び昼食） | 〇，○○○円 |
| ２食（夕食、翌朝食） | 〇，○○○円 |
| １食（夕食） | 〇，○○○円 |
| 素泊り | 〇，○○○円 |

この借上料の定めを証するため、本書を２通作成し、甲、乙記名押印のうえ、各自１通保有する。

令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　甲　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名　称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　乙　　住　所

名　称

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　印